

あぜくら福祉会 上坂部なかまの家・ホームきらめき
地域連携推進会議 結果報告書

開催日時	2026年3月23日(月)14:00~15:30
開催場所	ショートステイアトム
出席者	9名
内容	<p>1、地域連携推進員の紹介 地域の関係者/ 1名 福祉に知見のある人/ 1名 経営に知見のある人/ 1名 障害福祉担当者/ 2名 あぜくら利用者/ 1名 あぜくら利用者家族/ 1名 あぜくら管理者/ 2名</p> <p>2、地域連携推進会議の目的と概要説明 厚生労働省の概要と手引きの説明 目的/事業所と地域との連携を深める ・利用者と地域との関係作り 顔の見える関係 ・地域の人への施設や利用者に関する理解の促進 ・サービスの透明性・質の確保 風通しのよい環境 ・利用者の権利擁護</p> <p>3、あぜくら福祉会の概要説明 法人理念、事業所紹介</p> <p>4、グループホームの生活の様子 グループホームが抱える現状と課題 ・利用者の高齢化・医療的ケアへの対応 ・職員不足 ・生活の質をどのように守るのか ・事業運営が外部に見えづらい ・家族との時間 後見人への引継ぎ</p> <p>あぜくら利用者から ホームで楽しい事/話をきいてくれる職員がいる事。ごはんが美味しい。好きな時間に入浴ができる。 自分の部屋がある。オセロができる。 困っている事/職員が辞めてしまう事。外出が自由にできない。ヘルパーが足りない。 今後、やってみたい事/外にでかけたい。クッキングがしたい。</p> <p>5、意見交流 福祉に知見のある人:急な怪我や病気の時の対応は?うちでは、法人が持ち出しになる。緊急時でも制度で認めてもらいたい。 あぜくら管理者:緊急や入院は法人職員が交代で対応している。 障害福祉担当者:金銭管理はどうしているのか? あぜくら管理者:金銭管理は家族、後見人から毎月生活費を預かり、職員が出納帳作成し管理している。 障害福祉担当者:使いたい利用者と管理する職員側で折り合いはどうつけていますか? あぜくら利用者:あまり使わないようにしている あぜくら管理者:揉めることもありますが、相談しながら一緒に考えている。 地域の関係者:自分のお金なのに管理されるのは大変だと思った。 経営に知見のある人:うちも同じ入所の施設。職員不足はうちも同じ。はばたきは15年経っているのに綺麗にされている。朝食の準備はどうされていますか。内では業務委託を考えている。本来、子供の生活の質を考えると手作りしたいが、難しい現状。 あぜくら管理者:あぜくらは各ホームで調理員を雇用して、前日に朝食の食材を準備。作るのは当日の勤務者になる。</p> <p>会議後、ホームきらめき・はばたき・にじいろの見学</p>